

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 4年 1月 15日

事業所名 きららSTEM西冠

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			
	2 職員の配置数は適切である	○			
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	△			玄関前の階段2段にスロープを設置した場合、傾斜角度がきつくなるなど安全性を考え取り外し可能な物を検討。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			集計後、情報共有と改善をはかるミーティングを行い改善につなげている。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			会報やホームページで公開
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	△			就労支援機関とのつながりを大切にしながら見学や助言をいただいている。
適切な 支援の 提供	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			時期を決めて面談の機会をもうけている。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	△			個別活動が中心だが情報共有しながらアイデアを出し合い取り組んでいる。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			子どもの状況に応じて対応している。工作や塗り絵、学習支援、話だけを聞く時もある。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	△			夏祭り等のイベントを企画している
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	△			個別活動が主になっている。特性等に配慮しながら可能な場合、小集団活動を取り入れている
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			毎日打ち合わせを行っている。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			振り返りを行い情報共有をおこなっている。
17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○				
18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○				
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	△			可能な限り組み合わせ支援を行っている。	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	△			一部の対象者とは学校と情報共有し支援に取り組んでいるが、保護者との連絡調整の方が多く到着、退所連絡等の対応している。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている				対象者がいない
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	△			こども園や発達支援事業所とは情報共有に努めているが保育園、幼稚園との情報共有はできていない
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している				卒業され移行される対象者はしていないが必要となった場合情報提供をする。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			事業所内だけで抱えないよう支援に対しての相談や助言を受けるようにしている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		興味関心のある子ども達が下校時に立ち寄ることはあるが交流会としての機会はない為、改善を検討している。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○			集団指導や会議等の開催時には積極的に参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			お迎え時に様子を伝えわからないところがあれば様子を教えてもらうなど情報共有に努めている
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	△			ペアレントトレーニング研修を受け職員の対応力向上に努めている。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			契約時と変更が判明した際には随時説明を行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			相談があれば対応をしているが、利用者自身の困り感に気づいた場合には事業所から相談をし対応している。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○			毎年11月には保護者会を開催するようにしている。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			活動の様子がわかる会報と情報発信ができる会報を作成。ツイッターでも発信をしている。
	35	個人情報に十分注意している	○			鍵付きの書庫を活用している。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	△			ボランティアの方を招いて催しを企画したり地域の方にも周知していただけるように進めていきたい。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	△			マニュアルを作成しているが保護者には周知されにくい状況を改善していく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			チェックリストの活用と研修をおこなっている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	△			対象者には支援計画に記載している。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	△			保護者より情報提供をいただいている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			情報を共有改善策を話し合う機会をもうけている